

# 自己実現2024

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

## 【いよいよ夏季休業】

昨日で1学期期末考査が終了しました。4月からの3ヶ月でみなさんは「基礎基本の定着」に努め、実力を蓄えてきたはずです。この夏季休業中は、それが本物かどうか確かめる絶好の機会です。暗記事項を完全に脳に定着させるために時間を掛けて反復して記憶し、問題演習に取り組んでください。ただし、この時期にいきなり大学の二次試験の過去問などに手をつけるのは効果が薄いです。「**基礎基本が定着**」したと自分で胸を張って言えるようになってはじめて、過去の入試問題に挑むのです。みなさんはまだまだ発展途上です。知識が不十分なままで難しい問題にチャレンジしても、いたずらに時間を失うばかりで実りが少ないです。誰も解けない難しい入試問題が解けることより、**誰もが解ける問題を確実に得点できることが合格へつながります**。また苦手科目克服の絶好のチャンスでもあります。この夏休みを「**実りある**」ものにするためにも、三者面談でじっくり今後の方向性を確認し、「**羅針盤**」等で各教科からのアドバイスを確認し、夏季補習等に積極的に取り組んで、「**第一志望への強い信念とそれに見あうだけの学力**」を身につけましょう。

なお、1学期の節目にあたり各クラスで教室の環境整備を十分に行ってください。教室は三者面談や夏季補習に使用されるので、終業式迄に**教室内の私物を持ち帰りましょう**。

## 【第2回実力考査教科・科目別講評】6/12,13の実力考査の講評をよく読んで！

### <国 語>

**現代文分野 【一】**の論説的な文章は難解な内容ではあったが、積極的に記述解答している者が増え、得点意欲の向上がうかがえた。正解には結びついていない答案も多かったが、今後に期待が持たれる。評論読解の基礎となる語彙の力はまだまだ足りておらず、今後も習得の努力を必要とする。**【二】**の文学的な文章では、現在の事柄と回想内容との関連、出来事の因果関係や契機、主人公の感慨や心情の理解が問われた。文学的文章を苦手としている人は多いが、粘り強く記述する者が増え、その甲斐あってか配点の約半数を得点できていた。言葉や表現の知識は文学的文章の読解を大きく左右するので、更なる努力を重ねてほしい。

**古文分野 【三】**は、現代文分野の問題に時間をとられたためか、記述問題に手をつけていないものが多く見られた。時間配分にしっかり注意して解答に取り組まなければならない。また、選択問題であっても、短い時間で本文の読解をして解答に臨まなければならない。そのためにも、単語と文法の知識が不可欠である。それにもかかわらず「古文単語 330」にある重要語句を問う問題でも正答率が低かった。基本的事項の定着をはかりつつ、場面転換の多い長文にも慣れる必要がある。

**漢文分野 【四】**は2類の文章を出題したが、人物の行為とその内面を読み取ることが求められていた。語法・句法においては基礎的な頻出のものばかりであったので、両方の文章を通して人物の相関関係を把握できた人は高得点であった。漢文が安定的得点源になるよう、長文読解の経験値を上げていかねばならない。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2024』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

## <数 学>

偏差値にこだわるのではなく、基礎・基本的事項をしっかりと理解してほしい。できなかった問題の直し直しを必ず実行すること！同じミスを繰り返さないように！！

### 1 文理共通 (整数)

完全数を題材とした。「約数と倍数」、「素因数分解」、「互いに素」などのキーワードをおさえ、基本的な問題で解法を定着させよう。また、「場合分け」は丁寧に。

### 2 文理共通 (ベクトル)

ベクトルは早期に苦手克服をしてほしい。図形問題を考えるうえで非常に役に立つ考え方であるし、意外にも問題パターンは絞られる。ただし、ベクトルのみに偏って考えるのは不利ともいえる。三角比をはじめとした図形の性質を体系的に学んで、多角的に図形問題に取り組むようにしよう。

### 3 文理共通 (場合の数・確率)

場合の数の基本は、「数え上げ」である。特に(1)の場合の数は **10通り** しかなく、そこは実際書き並べることで導き出せる。問題文の設定を落ち着いて理解し、実験をくり返すことによって解答を導けたはずだ。(4)の条件付き確率は共通テストの必須事項である。

### 4 文理共通 (数列)

ケアレスミスが多かった。番号の数え上げに失敗したか。近年、偶奇の場合分けの考え方を利用する問題が増えているので、確実に定着させたい内容である。「漸化式」や「 $\Sigma$ 計算」などの要点もおさえよう。

### 5 文系 (微分・積分)

[1]は面積公式の証明問題であったが、分野を問わず、基本定理の証明の方法もしっかり理解しておくこと。[2]は垂直二等分線の性質を利用した教科書レベルの問題もあった。

### 5 理系 (複素数平面)

「極形式」など基本的な定義を理解しよう。「ド・モアブルの定理」、「絶対値の計算」、「実数条件」などの基礎・基本をしっかりとおさえよう。

### 6 理系 (微分)

微分計算は正確に・早く・丁寧に。計算力も数学の実力。「関数の連続性」、「微分可能性」などの定義の基本事項はしっかりと理解しよう。「中間値の定理」と「平均値の定理」の内容をしっかりと理解しよう。「はさみうちの原理」を利用した解法もしっかり身につけよう。

## <英 語>

	配点	出題内容・主題	英文の語数	難易
1	33点	読解総合 (人文社会) リリアン・ブランドの生涯	815語	易
2	33点	読解総合 (小説) 『アルケミスト』	847語	難
3	34点	読解総合 (自然科学) 永平寺町のレベル4自動運転車	935語	やや難
4~8	52点	文法・語彙 (同意文、正誤問題、並べ替えなど)		標準
9	18点	英文和訳 マスク着用・エリザベス女王	116語	標準
10	30点	和文英訳 読書の効用・高齢化社会など		標準

**読解問題** 1~3の素材英文量は、3題の合計で、英文和訳を含めると約3000語であり、読解量はかなり多い。100分でこの分量を読むには、時間配分が大切になってくる。分からない問題を、粘って考え続けてしまうことが時間配分ミスにつながる。取れる問題で点数を取る意識をもとう。

<保護者の方々にも読んでいただきますよう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2024』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

時間が足りない生徒は、長文での読み返しが多い(英文の処理に慣れていない)、なんとなく文章を読んでしまっている(文章の論理展開を把握せずに読んでいる)、丁寧に読み過ぎている(全文和訳しながら読んでいる)癖がついていないか振り返り、普段から多種多様な英文を短時間で読解する練習をしておこう。毎日ある程度の量の英文を読むようにしたい。

**文法・語彙問題**では、基礎レベルの問題も多かった。間違った部分は復習し、確実に覚えておくこと。(模試振り返りノートの活用)

**英文和訳と和文英訳**については、点数自体はあまり伸びなかったが、半年前と比べても確実に表現力がついてきている。自分が確実に知っている表現に置き換えたり、持っている語彙の中から表現したり、と授業での取り組み内容が力につながっている実感があった。

### <物 理> **物理講評** 【理系、総理】平均点 36.2 点(総理 47.1 点)

①(剛体のつりあい)、②(気体の循環過程)、③(うなりとドップラー効果)、  
④(直流回路)、⑤(コンデンサー)

各分野とも入試基本レベルの問題であった。それぞれ得意、不得意があると思うが、各分野の基本重要事項を全く理解していない生徒が見受けられる。例えばドップラー効果。公式を覚えているだけでは、教科書の演習問題は解けるが、入試問題には通用しない。現象の生じる仕組みを理解し、その上で公式を覚えておくことが大切だ。各分野とも、そのように考えてほしい。

また、今回も問題の指示に従っていない解答が目立った。問題文をよく読み、状況を理解し、単位なども含め、どう答えるか。解答すること、答案を作成することは問題作成者とのコミュニケーションである。一方的に主張するような、独りよがりの解答になっていないか。丁寧に書く、計算できるところまでしっかり計算する。美しい解答になるよう心掛けよう。

現在、電磁誘導あたりまで進んだ。あと交流、電子・原子など、2 学期中間までには教科書が終わる。今回出題の少なかった力学と電磁誘導以降の範囲は頻出である。公式を覚えることは問題集のまとめを見るだけでもできるが、現象の生じる仕組みは授業をしっかりと聴かなければ理解できない。今後も授業にしっかりと取り組んでいきましょう。

### **物理基礎(総合物理)講評** 【文系】平均点 30.1 点 (50 点満点)

問題は内容的には基本的なものであった。全体的に基本的な所はおさえられているようである。共通テストでは、長文を読み、状況をしっかりと把握することが重要であるが、問題文をしっかりと読まず、勘違い、早とちりをするなどで点数を落としている生徒が見られる。基本事項、公式を確実に覚えることは大切だが、慎重に、注意深く、ミスをしないように解いていくことも大切である。これは普段の心がけで培われる。授業を集中して受けることでそのあたりを鍛えていってほしい。

**<化学> 化学講評 【理系、総理】**

今回の実力考査は、現時点の二次学力を測定する問題として出題しました。大問 2~4 は文章を読んで条件や題意を掴んで、さまざまな分野が融合された総合問題を解き、解答を記述する必要があるという意味で二次試験的です。ただし設問は基本～標準的なレベル（入試レベルから見れば）がほとんどですから、間違っただけの箇所やできなかった箇所は解説を使ってきちんと復習をしておくこと。日頃の学習の取り組みの成果が表れているといえる5割（二次形式なので6割が目標点ですが）を取れている生徒もいますので、出遅れている人は早めに追い付いていきましょう。基本問題集（グローバル）とともにマーク式問題集（チェック&演習化学）は既習範囲まで一通り解き終わっていますか（自分で計画的に進めて下さい）。一学期で無機・有機も終了します。暗記がたいへんな分野ですが覚える努力をしていますか？ 次の8月マークでは75点を目標にしてしっかり演習を進めてください。また、時間不足になった人は普段から意識して問題を解く（計算も含めて）スピードをアップさせましょう。

**化学基礎(総合化学)講評 【文系】**

■平均点 1組 29.0 2組 29.9 3組 31.3 全体 30.1

満点 1名 40点以上 6名 20点以下 10名

共通テストで問われるような思考力や判断力を必要とする出題をした。問題文から情報を読み取り、学習した知識とむすびつける練習をしておくように。

夏休みを前に教科書の範囲は一通り終えたので、前から言っていたように夏休みが終わるまでには化学基礎の勉強は完了させておくように。学習する際に理解できている部分、できていない部分を明確にするよう心掛けてほしい。2学期からはひたすら演習をするので、問題に取り組む際に、なぜ間違えたのか自分で考察できるように夏休みの間で学習を一通り終えるよう頑張ってもらいたい。

**<生物> 生物講評 【理系、総理】 受験者 87人 平均 37.2点 (最高点 66点)**

大問数は4題(実質3.5題です)、中堅～難関国公立個別学力試験、私立難関大学入試レベルの問題である。授業で詳しく解説した通りである。今回は論述問題は5題ですべて字数制限を設けている。ただし授業でも述べた通り、字数を超えても減点はしていない、論述の目安として示している。合計250字以上の論述であるので、70点を超える者はおらず、高得点を取るのには難しかったと思われる。授業を2時間使って、詳細に解説をおこなった。問題の構造考え方、解答法についてはすでに説明したとおりである。

**第1問 個体群・生態系に関する問題**；グラフの理解はできており、共通テストレベルの問題であれば、十分な対応力があるものが多いと思われる。問2の定番の記述問題ではキーワードを使う論述問題だが、問4の深い考察を必要とする難易度の高い記述問題で、この実験が何を示そうとしているものかを考える必要があった。ニッチ、種間競争、競争的排除などこの問いと直接関係のない知識や理解が邪魔をして、正解にたどり着けなかったものも多かった。

**第2問 遺伝子の問題**；クローニングがテーマ、なぜ逆転写したcDNAを利用するのかなど、定番の記述はキーワードをうまく使い得点したい。問3(実験結果から考察する)、問5(初めて見る制限酵素処理の考察問題)の2題は難問であるが、一度経験しておけば、出題されても同様の考え方を使うことができる。

**第3問 遺伝子の小問**；レポーター遺伝子の問題 実験系の差異とグラフの比較から解答する。問2の考察問題は考え方や解答の手順は授業で説明した通りである。一度やり方がつかめれば完解できる。完解できたものも多くいた。一方、問1は基本の用語を文章の空欄に入れる問題だが、語句や用語の意味が分かっているにもかかわらず納まらない。国公立難関大でも、このような語句穴埋めは必ずある。実験内容を理解していないと暗記では解けない。

**第4問 タンパク質と免疫に関する問題**；イムノクロマトグラフィーを使った抗体検査の原理や血清療法の論述を出題した。問5の血清療法の論述では、よく問われる血清療法が2回使えない理由ではなく、1回目の投与から起こる不都合について考察し説明する問題であった。解答で用いてはいけない用語（二次応答関係の用語）を用いて説明した生徒が多く、特に難関大を目指す生徒は、このあたりの論述を突破する考察力を身に付けてほしい。

教科書が6月頭に終わり、個別大学入試問題の演習に入っている。グラフや初見の実験の理解など実践的な入試問題の演習を行っている。教科書の内容を全て理解していても、共通テストでさえ通用しない。先人が行ってきた様々な実験・研究をもとに出題される。多くも問題を解いて、これから実践力を身につけよう。夏が勝負です。

### **生物基礎(総合生物)講評** 【文系】 ■受験者 80名 平均 14.2点 最高点 34点

4月の校内実力で4割に届かなかった平均点が、今回はさらに低く3割に届かないという結果になった。理科の基礎科目は、60分で2科目を解かなければならない。得点が思ったより低いのは、他の科目が影響した可能性も考えられる。常に時間配分に気を配り、できる問題を落とさないようにすることが大切だ。

**I <A>**昨今のコロナ渦に関連づけたウイルスに関する問題。定番の細胞の大きさはいろいろな角度で出題される。整理しておこう。**I <B>**細胞周期のグラフ問題。長いリード文を時間内に読み取って理解できたかがポイントになる。また、これまで何度も出題しているDNAの計算問題の正答率がまだ低い。苦手意識のある人は必ずやり直しておこう。

**II <A>**腎臓の計算問題もいまだに苦手な人が多い。濃縮率や再吸収がイメージできるようにしてほしい。**II <B>**長いリード文だが、免疫の基本的な事象が理解できていればさほど難しくない。**III <A>**は世界のバイオーム、**III <B>**は橋本くんと北野くんに登場していただいて六甲山のバイオームを出題した。遷移を絡めた問題では、環境の作用と生物の環境形成作用による樹種の移り変わりを理解しよう。

1学期中に基本事項の復習を終え、今後さらに問題演習を通して実践力をつけていくことになる。調査や模試の問題は必ずやり直し、力をつけていこう。

### **<世界史>**

共通テスト形式33問、記述形式40問、論述形式1問を出題しました。今回は大問2を中心に難問が多く、全体として正答率は低めでした。共通テストでしか必要のない者は、特に正誤判断について解答を導けるように基礎的な知識を正確に定着させてください。個別試験で必要な者は、中国史を中心に用語の漢字にも注意を注いでほしいところです。難関大を目指す者は、論述について、今回は過去の類題でしかも基礎的な内容の説明を求められるものでしたので、確実に得点源にできるようにしてほしい。作文は論理的に構築して解答してください。全体として、同時代に国際関係がどうだったかという視点がまだまだ身につけていないようです。世界史は縦軸と横軸の複雑な絡み合いに見えますが、単位ごとに重要な事象は限られていますので、そろそろ既習範囲の復習も本格的に進めましょう。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう> <ご意見・ご質問をお寄せください>  
『自己実現2024』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

## <日本史>

第1問～第3問は旧センターテスト形式、第4問は共通テスト形式、第5問、第6問は私大入試問題形式、第7問は国公立二次試験形式の問題を出題しました。特に第5問、第6問は難問も多く含まれていたため正答率はかなり低かったです。日本史が共通テストしか必要ない生徒にとっては第5問～第7問ができなかったとしても、問題ありません。難関私大や国公立二次試験で日本史が必要な生徒は最終的には6割5分から7割はとれるようにしてください。逆に第1問から第4問は共通テストに準じた問題なので最終的には正答率が8割以上にならないといけません。今回の正答率が5割弱だったので、まだ社会のほうにまで勉強が進んでいないように思われます。特に時代順に並び替える問題の正答率が低かったので、ただ単に歴史的用語を覚えるのではなく、その前後のことを時系列的に覚えることが必要だと思います。地歴は勉強した分だけ成果がすぐに表れるので、今後の頑張りに期待しています。

## <地理> ■平均 48.9点 最高点：94点 最低点：26点

今回は自然分野を中心に出题した。大地形、気候、土壌など基本的な事項の理解がまだまだ不十分であった。夏休みの補習で授業をするので、この機会で自分のものにしましょう。機巧な一度理解すれば、生涯活用できます。人文分野の問題に関してはまずまず出来ていました。夏休み以降授業に集中するとともに、自分が不得手な分野は自分でこつこつと克服、習得してください。

### ■まとめ

『成績のいい人はテストの見直しをしている……』

テストは結果ばかりをみるのではなく、間違った問題を必ず見直しをすること。間違直しは最も効率のいい学習法です。見直しをしないのはとても損をしていることに気がつかない人は次のテストでは残念な結果に終わるかもよ…。わからないところは先生に質問してください。

### [大学入学共通テストへの準備について]

大学入学共通テストは、現役生は個人ではなく在籍高等学校経由で一括出願することになっています。出願方法や注意事項等の詳しい説明は、9月4日(月)の14:15～15:00に学年集会で行う予定です。また、出願書類(大学入学共通テストでは「受験案内」と呼んでいます。)は、最寄りの大学(神戸高校は神戸大学)より76回生全員分を取り寄せます。夏季休業中に申請や手続きが始まるものについて確認しておきます。

### **英語リスニング「イヤホン不適合措置申請」について**

英語リスニングで使用するイヤホンが耳の形に合わず装着できないために、試験当日ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」を下記の方法で入手し、最寄りの大学入試センター試験参加大学の入試担当窓口で確認の署名をしてもらった後、志願票の所定の欄に貼り付けて出願しなければなりません。イヤホンが自分の耳に合うかどうか不安を感じている人は、**進路指導部(松井先生)**のところまで来てください。昨年の現物がありますので試しに装着できます。

#### [申請書の入手方法]

①「大学入試センター」のH.P.からダウンロードする。②進路指導部先生(職員室)の所へ行く。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう> <ご意見・ご質問をお寄せください>  
『自己実現2024』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

**[夏季休業中の教室等の使用について]**

大半の76回生は、部活動ではなく三者面談、夏季補習、自習で登校することになります。他への配慮の気持ちを忘れず、エネルギー節約にも気を配り、お互いに気持ちよく学習活動が行える環境作りに協力しましょう。下記の注意事項を熟読してください。

- (1) 自習教室:指定された場所(教室掲示)でのみ行う。面談などで使用されることもあるので、注意する。
- (2) 進路指導室自習可能時間帯:原則平日の8:20~17:00(下校時刻厳守)
- (3) 校舎への出入り:平日は生徒昇降口
- (4) 各自でゴミの処理など教室の環境整備や、戸締まり・消灯に心掛ける。
- (5) 貴重品の管理は、各自が厳重に行う。
- (6) 夏季休業中の様々な連絡は、職員室前日番連絡黒板にて行います。

■7/13(木)LHR(5限)学年集会にて、「夏休みに向けて…」と題して各部署からお話があります。参考にして悔いのない夏休みを過ごしていきましょう!

**[6月進研マーク模試の答案返却とその結果について]****■総合学力進研マーク模試6/2・3+6/10実施分)**

6月に実施した全統マーク模試の結果が判明しました。まだまだ形式に不慣れな点と基礎力の未定着・計算力不足は否めません。夏から秋に向けて着実に力をつけていくので、これからも焦ることなくじっくりと授業中心の学習を心がけましょう。模試の成績は所詮途中経過に過ぎません。6月の成績分布がそのまま本番まで推移するはずがなく、夏の成果はこれから現れてきます。数字や順位に一喜一憂することなく、間違った問題やできなかった分野に目を向けて復習するというひたむきな努力を積み重ねていくことが大切です。

※今回は初めての自己採点だったこともあり、返ってきた答案の点数と自己採点の得点が違うケースが多く見受けられました。自己採点との誤差は注意不足が原因です。丁寧に!

得点分布表はHPには掲載していません

**[進路指導部からの告知:「中四国医学部チャレンジ」(高松予備校主催模試)の申し込みについて]**

■実施日:8/19(土)8:30~10:00(90) 英語/10~12:10(120) 数学/12:40~14:40(120) 理科  
※希望者は、7/13(木)までに進路指導部(松下)まで申し込み用紙を取りにくること。受験料¥2,500

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉  
『自己実現2024』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。